
令和 6 年度学校評価 苫小牧市立錦岡小学校

1 目的

児童がよりよい教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指す。

2 評価時期、評価方法

(1) アンケート回答

- ・令和 6 年11月25日～12月 6 日
- ・教職員アンケート、保護者アンケート、児童アンケート

(2) 意見聴取

- ・令和 7 年 2 月27日（第 4 回学校運営協議会）

3 評価者

(1) アンケート回答

- ・児童591名回答
- ・保護者233名回答
- ・教職員45名回答 ※常勤の者、道費負担教職員回答

(2) 意見聴取

- ・学校運営協議会委員承認

4 昨年度からの主な変更点

(1) 回答した人数の割合を百分率（%）で表記

(2) タブレット端末の活用に関する質問を追加

(3) 無記名式から記名式に変更

- ・本紙に児童名、保護者名は記載しない
- ・学年や児童、保護者、教職員のみを記載

(4) 記述した内容についての学校の考え、方向性等を明記

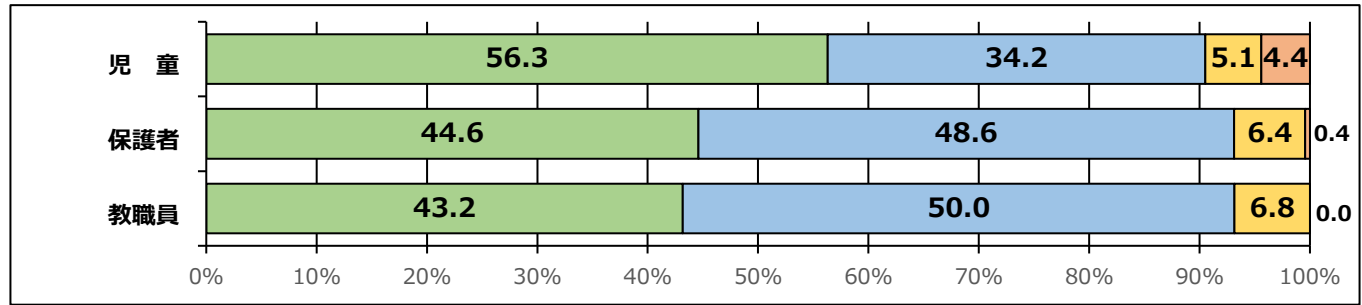
- ・記述した内容は、要旨が変わらないよう配慮して上で、学校で精査、編集
- ・記述した人物等が特定されないように配慮

設問 1 重点

- ☐ 児 童 「学校は楽しい。」
- ☐ 保護者 「学校は、子どもにとって『楽しい』場所づくりに努めている。」
- ☐ 教職員 「学校は、子どもにとって『楽しい』場所づくりに努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえ ばそう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童	56.3 (57.4)	34.2 (31.0)	5.1 (7.3)	4.4 (4.4)	90.5 (88.4)
保護者	44.6 (28.8)	48.6 (60.7)	6.4 (9.5)	0.4 (1.0)	93.2 (89.5)
教職員	43.2 (21.2)	50.0 (72.7)	6.8 (6.1)	0.0 (0.0)	93.2 (93.9)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「学校が楽しい」と肯定的な回答した児童の割合、「学校は、子どもにとって『楽しい』場所づくりに努めている」と肯定的な回答した保護者及び教職員の割合がそれぞれ90%を上回りました。ただ、否定的な回答をした児童が10%程度いることから、学校としてそのように感じている児童に支援する必要があります。

児童、保護者の記述から

- 【成果】
- ①学級担任へ感謝しています。来年も学級担任になってほしいです。（第5学年児童）
→ありがとうございます。学級担任は喜んでいることと思います。（学校）
- ②教員の言動の制限が多そうで、本当に大変な仕事なんだと、頭が下がります。学級担任のことを子どもは「大好き」と言って、学校を「楽しい」と言っている。それがいちばんです。いつも感謝しています。（第3学年保護者）
→ありがとうございます。今後も、児童が「学校が楽しい」と思えるよう、努めてまいります。（学校）
- ③内向的な子どもで、日直のスピーチが嫌で前日に眠れなかったり、予習をしたりするなど、不安ばかりでしたが、2学期の途中から、本人の意識が変わり、自ら授業中に手を挙げることが増え、学級担任の声かけのおかげで「やってみよう」と挑戦する気持ちにさせてもらったように感じています。今では、「今日、日直だったー！」と嫌がらずに取り組んでいる姿を見られ、感謝しております。（第5学年保護者）
→ありがとうございます。今後も、児童が自信をもって取り組めるよう、指導・支援に努めてまいります。（学校）
- ④学級担任が変わっただけで、著しく学級での人間関係が改善され、最後の一年、とても楽しく登校するようになってくれました。学級担任をはじめ、児童会で関わった教員が、色々な場面で本人に声をかけてくれたと聞いています。教員から掛けられた言葉は、私自身30年前の言葉でもずっと心に残っています。息子の心を育てていただき感謝しています。本当にありがとうございます。（第6学年保護者）
→教員冥利に尽きるお言葉をいただいたき、ありがとうございます。今後も、児童の望ましい人間関係構築に向けて、指導・支援に努めてまいります。（学校）

設問 1 重点

【課題】

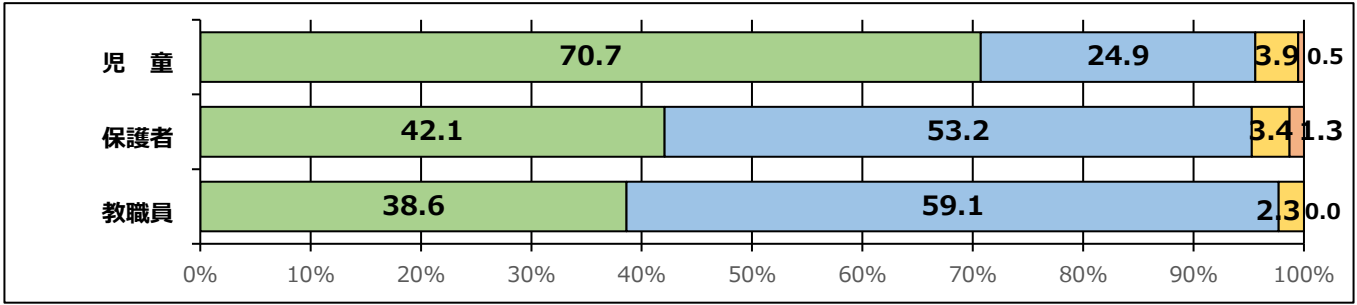
①自分が悪いのに他人のせいにして泣く人がいたら、人間関係がより悪くなることがあります。そんなときは、学校が少し嫌になります。そういう人がいない学校になればいいと思います。（第4学年児童）
→そのとおりですね。他責にするのではなく、自分事として振り返ることで課題解決が進み、人間関係がよくなることがあると考えます。児童と教員で一緒に考え、行動していきましょう。（学校）

設問 2 学ぶ力の育成①

- ☐ 児 童 「先生の授業はわかりやすい。」
- ☐ 保護者 「学校は、子どもにとって『分かりやすい』授業づくりに努めている。」
- ☐ 教職員 「学校は、子どもにとって『分かりやすい』授業づくりに努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童	70.7 (71.1)	24.9 (24.7)	3.9 (2.6)	0.5 (1.6)	95.6 (95.8)
保護者	42.1 (26.3)	53.2 (63.7)	3.4 (9.5)	1.3 (0.5)	95.3 (95.3)
教職員	38.6 (30.3)	59.1 (69.7)	2.3 (0.0)	0.0 (0.0)	97.7 (97.7)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「先生の授業はわかりやすい」と肯定的な回答をした児童の割合、「学校は、子どもにとって『分かりやすい』授業づくりに努めている」と肯定的な回答をした保護者の割合がそれぞれ95%を上回りました。今後も、授業改善に努めてまいります。

児童、保護者の記述から

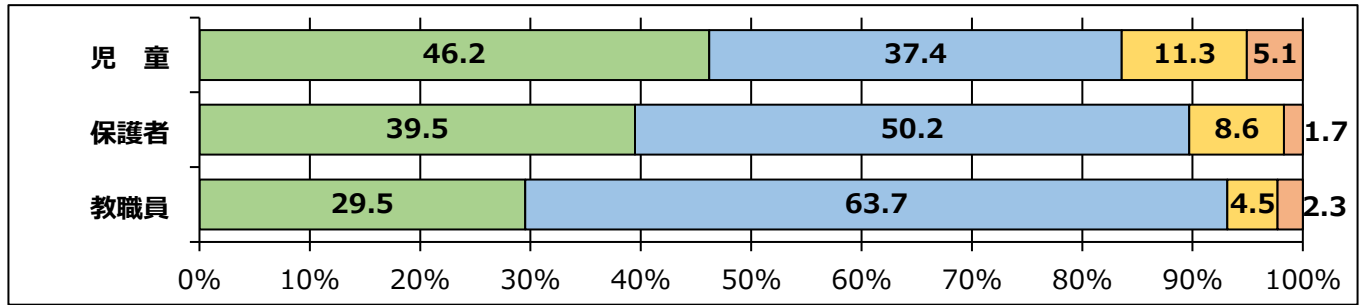
- 【成果】
①テストで100点を取ることができました。（第3学年児童）
→努力した成果ですね。この調子で頑張りましょう。（学校）
- 【課題】
※記述なし

設問3 学ぶ力の育成②

- 児童 「自分は、宿題や家庭学習にしっかりと取り組んでいる。」
- 保護者 「学校は、宿題や家庭学習に取り組む子どもの育成に努めている。」
- 教職員 「学校は、宿題や家庭学習に取り組む子どもの育成に努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児童	46.2 (45.5)	37.4 (32.4)	11.3 (15.9)	5.1 (6.3)	83.6 (77.9)
保護者	39.5 (32.9)	50.2 (53.9)	8.6 (11.7)	1.7 (1.5)	89.7 (86.8)
教職員	29.5 (39.4)	63.7 (48.5)	4.5 (12.1)	2.3 (0.0)	93.2 (87.9)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「学校は、宿題や家庭学習に取り組む子どもの育成に努めている」と肯定的な回答をした教職員の割合が93.2%で、「自分は、宿題や家庭学習にしっかりと取り組んでいる」と肯定的な回答をした児童の割合が83.6%で、10ポイント程度の乖離が見られます。学校での指導が児童の取組の成果につながっていない状況が考えられますので、引き続き、保護者と連携を図り、充実を図る必要があります。

児童、保護者の記述から

【成果】
※記述なし

【課題】

①宿題、家庭学習に関して、毎日というのはやりすぎかなと感じています。絵や音楽、スポーツ他、その子ども自身が興味のあることについて調べることも「学び」だと思っています。学校から出される学習課題ばかりだと、その子がその時学びたいことへの時間が削られてしまいます。「やらされる」だけでなく「進んで取り組む」ことにも重きを置いてほしいと感じています。（第3学年保護者）
→ご意見ありがとうございます。現在、主体的に学ぶということが重要視されています。学校でも家庭でも児童が自身の学びを調整し、継続的に学べるよう、改善を図ってまいります。（学校）

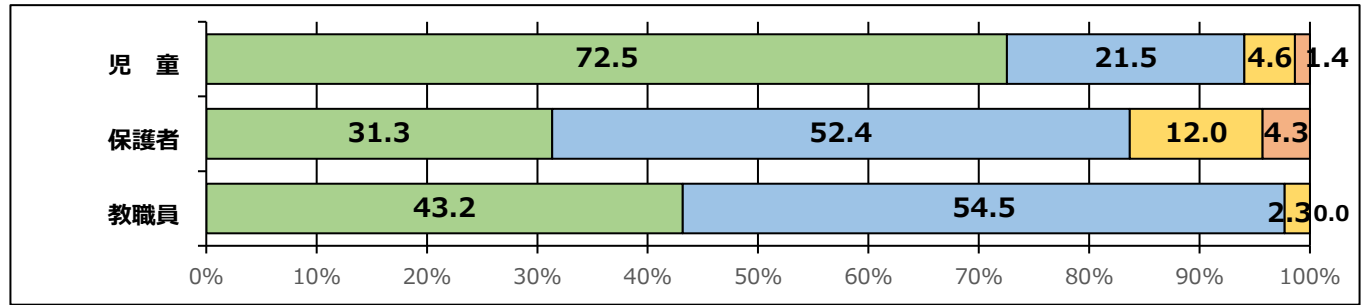
②学力にもう少し力を入れてほしいです。書き取りや計算など、繰り返し取り組む必要があることを宿題にするよう、していただきたいです。家庭学習など、自由に学習内容を選択できることは、よい点がありますが、その反面、児童で、自主的に進めるにはまだ不十分な気がします。（第5学年保護者）
→ご意見ありがとうございます。児童一人一人によって、必要な取組が違ってきます。児童が繰り返し取り組むこと、自由に学習内容を選択し取り組むことの均衡を考えて、児童が主体的に取り組めるように工夫・改善を図ってまいります。（学校）

設問 4 豊かな心の育成①

- ☐ 児 童 「先生は、いじめのない学級をつくってくれている。」
- ☐ 保護者 「学校は、いじめのない学校づくりに努めている。」
- ☐ 教職員 「学校は、いじめのない学校づくりに努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童	72.5 (72.5)	21.1(21.2)	4.6 (3.9)	1.4 (2.4)	93.6 (93.7)
保護者	31.3 (21.0)	52.4 (57.6)	12.0 (16.8)	4.3 (4.6)	83.7 (78.6)
教職員	43.2 (18.2)	54.5 (78.8)	2.3 (3.0)	0.0 (0.0)	97.7 (97.0)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「学校は、いじめのない学校づくりに努めている」と肯定的な回答をした保護者の割合が前年度比で5.1ポイント増加しました。ただし、令和6年度に肯定的でない回答をした保護者の割合が16.3%いることから、保護者からのいじめ問題の相談に早期対応するなど、適切に対応するよう改善する必要があります。

児童、保護者の記述から

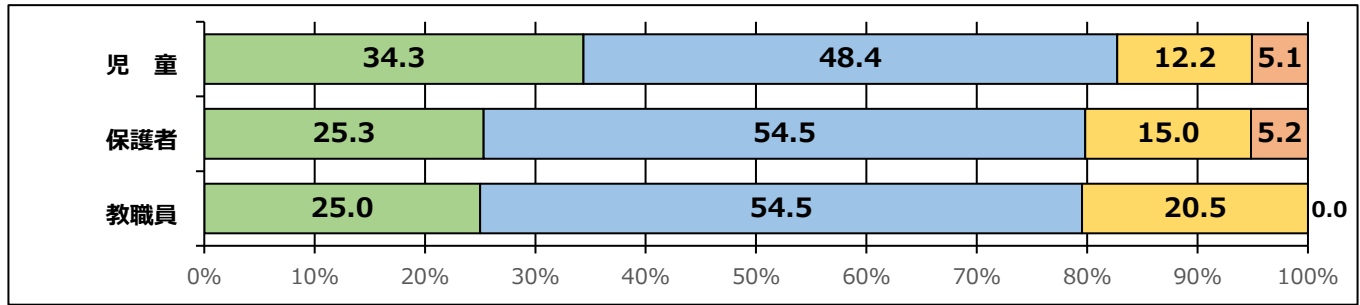
- 【成果】
※記述なし
- 【課題】
- ①自分はやっていないのに人にだけ言うのをやめてほしいです。（第4学年児童）
何もしていないのに、怒るのはやめてほしいです。（第4学年児童）
もう少しいじめをなくしてほしいなと思います。（第4学年児童）
学級で、悪口を言う人がいるから直してほしい。（第4学年児童）
悪口が多いです。（第6学年児童）
→望ましい人間関係を構築できるよう、学校（教員）でも引き続き指導していきます。また、一人で悩んでいるようでしたら、早めに相談してください。また、学校だけが頑張ったとしても十分ではないので、児童の力も合わせて、安心・安全な学校、学年、学級づくりを目指していきましょう。（学校）
 - ②学校のいじめについて、教員が努力してほしいです。（第2学年保護者）
嫌がらせやいじめに関して、もっと注意深く観察、聞き取りを行い、改善をしていくべきだと思う。（第4学年保護者）
→「学校いじめ防止基本方針」を踏まえて、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。学校では、いじめアンケート等で早期発見に努めていますが、見落としていることがあるかと思います。保護者で把握していることがあれば、学級担任等に相談願います。（学校）

設問5 豊かな心の育成②

- ☐ 児童「自分は、あいさつを進んでしたり、正しい言葉づかいをしたりしている。」
- ☐ 保護者「学校は、挨拶や言葉遣いの指導に努めている。」
- ☐ 教職員「学校は、挨拶や言葉遣いの指導に努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児童	34.3 (38.7)	48.4 (44.8)	12.2 (12.5)	5.1 (4.2)	82.7 (83.5)
保護者	25.3 (22.9)	54.5 (53.7)	15.0 (20.5)	5.2 (2.9)	79.8 (76.6)
教職員	25.0 (15.2)	54.5 (51.5)	20.5 (33.3)	0.0 (0.0)	79.5 (66.7)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「自分は、あいさつを進んでしたり、正しい言葉づかいをしたりしている」と肯定的な回答をした児童の割合が82.7%で、「学校は、挨拶や言葉遣いの指導に努めている」と肯定的な回答をした保護者及び教職員の割合がそれぞれ80.0%を下回りました。挨拶や言葉遣いで望ましい児童の姿が見られるよう、学校、家庭、地域で粘り強く指導する必要があります。

児童、保護者の記述から

【成果】
※記述なし

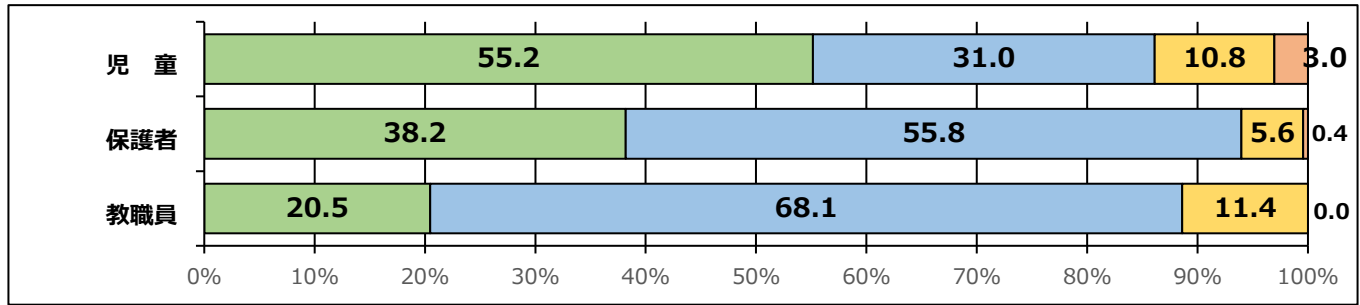
【課題】
①挨拶など礼儀の部分は、特にこれから大事なのでしっかり取り組んでほしいです。（第6学年保護者）
→学校でも継続的に取り組んでいるところですが、十分成果が出ているとはいえない状況です。今後も、学校、家庭、地域で共通理解を図りながら、大人が範を示すなどして、粘り強く指導する必要があります。（学校）

設問 6 健やかな体の育成

- ☐ 児 童 「自分は、体育の授業や日本一周マラソンにしっかりと取り組んでいる。」
- ☐ 保護者 「学校は、子どもの健康な体力づくりに向けた取組に努めている。」
- ☐ 教職員 「学校は、子どもの健康な体力づくりに向けた取組に努めている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童	55.2 (62.6)	31.0 (26.3)	10.8 (8.2)	3.0 (2.9)	86.2 (88.9)
保護者	38.2 (29.8)	55.8 (62.0)	5.6 (7.3)	0.4 (1.0)	94.0 (91.8)
教職員	20.5 (12.1)	68.1 (75.8)	11.4 (12.1)	0.0 (0.0)	88.6 (87.9)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「自分は、体育の授業や日本一周マラソンにしっかりと取り組んでいる」と回答した児童の割合が86.2%で、前年度比2.7ポイント減りました。児童が楽しみながら体力向上を図ることができるよう、体育科の授業改善を図るとともに、授業以外の体力向上に向けた取組を進めていきます。

児童、保護者の記述から

- 【成果】

①スケート靴のリサイクル、スケート場でのスケート靴の貸出しは助かりました。ありがとうございます。次年度以降も続けていただきたいと思います。よろしく願いいたします。（第4学年保護者）

→評価いただきありがとうございます。次年度以降も、継続する予定です。（学校）
- 【課題】

①バレーボールを5時間したいです。（第4学年児童）

→第4学年体育科では、バレーボールそのものとルール等は違いますが、ネット型ゲームとして「キャッチバレーボール」を7時間予定しています。（学校）

②中休みに野球をやりたいです。（第5学年児童）

→軟式ボール、グローブ、金属バットを使用した野球は、危険を伴うので認めていません。使用する用具によっては、認めることができますので、学級担任に相談してください。（学校）

③「大谷グローブ」を使わしてほしいです。（第5学年児童）

→各学級に「大谷グローブ」を回して、触ったり、使用したりしてもらったところです。今後、クラブ活動で使用できるようにしますので、機会があれば使用してください。また、それ以外の時間で使用したい希望があれば、学級担任に相談してください。（学校）

④運動会のリレーは低学年、高学年で分けてもいいから全学年やって欲しいなと思いました。（第1学年保護者）

運動会の全学年紅白リレーを希望します。（第2学年保護者）

→運動会の種目は、体育科で目標として設定している内容を踏まえて設定しています。来年度の運動会種目では、主に徒競走、学年団体種目を予定しています。申し訳ありませんが、ご期待に応えることはできません。（学校）

設問 6 健やかな体の育成

⑤スケート学習で送迎のバスが2台あり、「1組の児童は1台のバスに乗り、2、3組の児童はもう1台のバスで座る席がなく立っていたため、ぎりぎり届く手すりを掴んで危なかった」「1組が乗ったバスは、席が空いているのにどうしてそのバスに乗れなかったのか」と子どもが言っていました。今回はけががなく済みましたが、今後そのようなことがないよう改善してほしいです。（第3学年保護者）

→バスは路線バスであり全員座ることができないことをご承知おきください。一方のバスが混むことでけがをすることのないように児童の人数の割振りをしてまいります。なお、人数は、学年で等分していたことを申し添えておきます。（学校）

⑥マラソン大会を希望します。行事を通して競争心など、頑張ろうとする意欲を育ててほしいです。（第2学年保護者）

授業日数の関係で仕方のないことだと思いますが、マラソン大会がなくなり、子どもが寂しそうにしていました。（第6学年保護者）

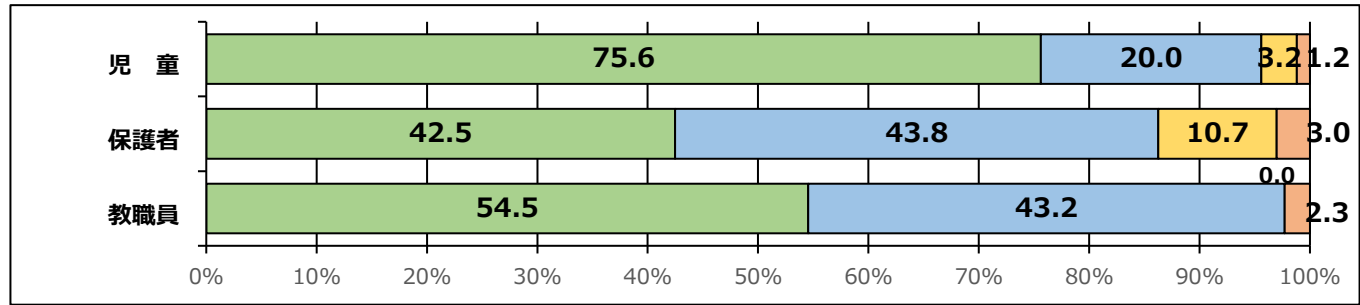
→マラソン大会ではありませんが、体育科の授業や休み時間に、無理のない速さで短い時間で取り組む持久走に取り組ませています。申し訳ありませんが、マラソン大会は、本校の年間指導計画で設定しておらず、今後、実施する予定もありません。（学校）

設問 7 信頼される学校づくり①

- ☐ 児 童 「先生は、困ったことなどの相談にのってくれる。」
- ☐ 保護者 「学校は、親身になって相談に乗ったり、適切に対応したりしている。」
- ☐ 教職員 「学校は、親身になって相談に乗ったり、適切に対応したりしている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童	75.6 (78.4)	20.0 (16.3)	3.2 (3.5)	1.2 (1.8)	95.6 (94.7)
保護者	42.5 (30.2)	43.8 (51.0)	10.7 (13.9)	3.0 (4.9)	86.3 (81.2)
教職員	54.5 (39.4)	43.2 (54.5)	0.0 (6.1)	2.3 (0.0)	97.7 (93.9)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「先生は、困ったことなどの相談にのってくれる」と肯定的な回答をした児童の割合が95.6%で前年度比0.9ポイント増加、「学校は、親身になって相談に乗ったり、適切に対応したりしている」と肯定的な回答をした保護者の割合が86.3%、同様に教職員の割合が97.7%で、それぞれ前年度比5.1ポイント、3.8ポイント増加したことから、取組の成果としてとらえることができます。

児童、保護者の記述から

- 【成果】

①いつも優しくしてくれてありがとうございます。（第3学年児童）
→こちらこそありがとうございます。（学校）

②相談しやすい環境なので助かっています。（第3学年保護者）
→ありがとうございます。今後も、気軽に相談できるように努めてまいります。（学校）

③学級担任には本当に親身に丁寧に対応してもらっており、本当に感謝しております。小さいこどもに気付き、学級全体がとってもいい雰囲気、息子も楽しんでいます。これからもどうぞよろしくお願いいたします（第4学年保護者）
→ありがとうございます。児童が安心・安全に、充実した学校生活を過ごすことができるよう、努めてまいります。（学校）
- 【課題】

①男子と女子の対応の差があると思います。（第4学年児童）
→性別や児童の特性等により配慮することが違うことから、対応に違いが出たのかもしれませんが。ただし、行き過ぎた対応をしているようなことがあれば、連絡願います。（学校）

②第1学年なので、ふざけたこと、もめたことを自分で解決できず、教員に頼ってしまうことは承知しております。自分の子どもがきちんとできていない場面があるかと思っています。しかし、教員が子どもに我慢させ過ぎたり、感情的な言葉を出したりすると、子どもが困ってしまいます。教員から自然と出た言葉を子どもが聞き、それを真似て、いじめ等に発展することがあるので、適切に対応してほしいです。（第1学年保護者）
→ご意見ありがとうございます。このことを教員で共有し、適切に対応するよう、努めてまいります。（学校）

設問 7 信頼される学校づくり①

③学級担任にはとても丁寧に対応してもらい感謝しています。何度か通常の学級の授業を参観する機会がありましたが、教員の言葉に疑問を感じたことがありました。まだ、自分の子どもは不安に思ったり不満をかかえたりすることはありませんが、言葉かけ次第では不満・不安を抱えそうだと思います。第1学年は、最近まで幼稚園児、保育園児でした。学級担任一人で何十人の児童を指導する大変さは、私には測りしれないものがあるとは思いますが、頭ごなしに否定したり、指示、命令したりするのではなく、もう少し思いやりのある言葉かけをしていただけたら幸いです。そして、そういった言葉かけのできる余裕が生まれる環境を学校側でも整えてほしいです。（第1学年）

→ご意見ありがとうございます。学校でも家庭でも言語環境を整え、適切な言葉かけをすることについては共有し、適切な言葉かけをしてみたいです。（学校）

④他の小学校で、1年に1度、学級担任と児童の個別面談を実施しているところがあると聞いています。とてもよいことだと思うので取り入れてほしいです。（第4学年保護者）

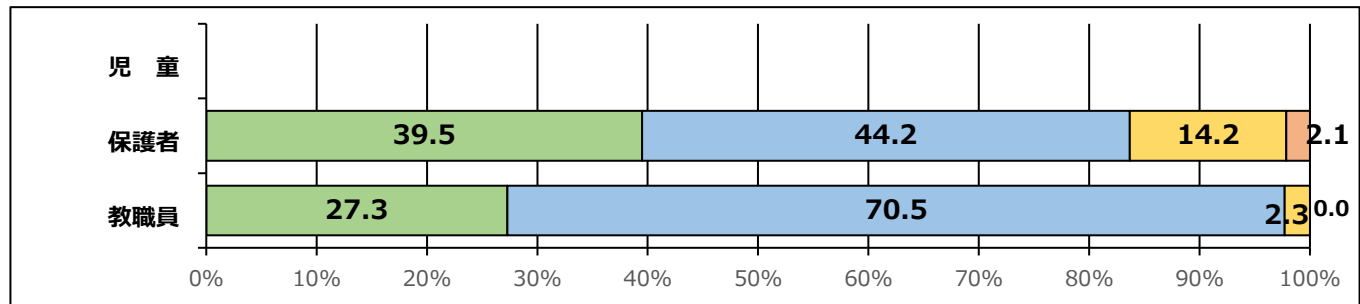
→本校においても、いじめの把握のためのアンケート調査を実施した後の教育相談、通知表を配付する際の面談の機会を設けています。今後も、児童と学級担任で面談、相談できる機会をつくり出していきたいと考えています。（学校）

設問 8 信頼される学校づくり②

- ☐ 児 童 ※質問項目なし
- ☐ 保護者 「学校は、学校の取組や子ども様子などの情報をよく伝えている。」
- ☐ 教職員 「学校は、学校の取組や子ども様子などの情報をよく伝えている。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童					
保護者	39.5 (30.5)	44.2 (50.0)	14.2 (15.9)	2.1 (3.7)	83.7 (80.5)
教職員	27.3 (24.2)	70.5 (72.7)	2.3 (3.0)	0.0 (0.0)	97.8 (96.9)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「学校は、学校の取組や子ども様子などの情報をよく伝えている」と肯定的な回答をした保護者の割合が83.7%で、前年度比3.2ポイント増加しました。ただし、肯定的でない回答をした保護者の割合が16.3%であることから、多くの保護者にとって、適切な時期に必要な情報提供ができるよう、改善を図っていきます。

児童、保護者の記述から

- 【成果】

①学級通信で、見学学習の様子などについて、写真を載せてくれたことがとてもありがたかったです。（第4学年保護者）

→ありがとうございます。今後も、教育活動の様子等について、様々な方法で情報提供してまいります。
- 【課題】

①学校行事などで、記載された内容が分かりづらかったです。初めてだと知らないことが多いので、もう少し分かりやすいように改善してもらいたいです。（第1学年保護者）

学年通信などで、行事や必要な物の連絡がありますが、説明が少なく、よく分からないということが時折ありました。保護者目線で分かりやすくお知らせいただけたらありがたいです。（第2学年保護者）

必要な持ち物などが子どもたちに伝わっていないことがあったりしたので、当日忘れ物で本人たちが困らないように、持ち物が必要な前日などに、再度しっかり伝えてほしいです。（第3学年保護者）

→ご意見ありがとうございます。読み手に分かりやすいよう、内容や方法等で改善に努めてまいります。また、不明なことがありましたら、ご遠慮なく、ご質問願います。（学校）

②学級の方針によるものなのかはしれませんが、理解できない指導が多くあるように感じます。例えば、給食の際に、「パンはかじらず、ちぎって食べる」「パンをスープに浸してはいけない」というようなルールがあるそうです。児童に理由を説明していないのか、言葉が足りないのかわかりませんが、理由が理解できない指導が続けば教師に対して不信感を抱くこともあると思います。（第3学年保護者）

→文部科学省の「食に関する指導の手引」では、窒息事故の防止として、「食べ物食べやすい大きさにして、よく噛んで食べるように指導する」と示しがあること、パンをスープに浸して食べることは、正式な食事のマナーとしてはよくないと言われていることから、上記のような指導をしていたところでした。今後は、児童に理由を分かりやすく示すなどして、丁寧に指導するように努めてまいります。（学校）

設問 8 信頼される学校づくり②

③年間行事予定にはあったが、実際なくなった授業参観日がありました。文書を確認していなかった私が悪いのですが、今回、連絡があるまで気付かなかったです。そのような場合は今回のように「さくら連絡網」で早めにご連絡いただけるとありがたいです。（第4学年保護者）

→当初示した年間行事予定と違うことになりましたことをお詫び申し上げます。変更等については、「さくら連絡網」でお知らせするようにしていきます。（学校）

④参観日ですが、兄弟が高学年だったため、日にちが違い何度も仕事を抜けなければならず、「同じ日だと助かるなあ…」と感染症対策もあると思いますが少し思いました。

→現段階では、一斉の授業参観を1回予定していますが、それ以外は、低・中・高で分けて実施する予定です。申し訳ありません。（学校）

⑤アンケートに答えましたが、学校の中のことは基本的には家庭では分からないので、アンケートもあまり意味がないような気がします。

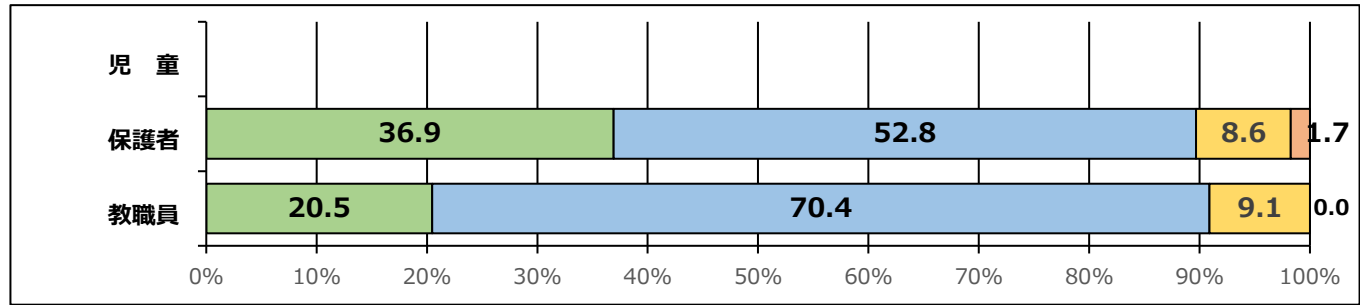
→教育活動や児童の様子等について、様々な方法を用いて分かりやすく紹介できるよう、努めてまいります。（学校）

設問9 信頼される学校づくり③

- ☐ 児 童 ※質問項目なし
- ☐ 保護者 「学校は、子どもの安全確保に向け、PTAや地域と連携している。」
- ☐ 教職員 「学校は、子どもの安全確保に向け、PTAや地域と連携している。」

	A そう思う	B どちらかといえば そう思う	C どちらかといえば そう思わない	D そう思わない	肯定的評価 (A+B)
児 童					
保護者	36.9 (31.7)	52.8 (56.1)	8.6 (9.8)	1.7 (2.4)	89.7 (87.8)
教職員	20.5 (24.2)	70.4 (63.6)	9.1 (12.1)	0.0 (0.0)	90.9 (87.8)

※表の（ ）内の数字は、昨年度の割合（％）を表しています。



「学校は、子どもの安全確保に向け、PTAや地域と連携している」と肯定的な回答をした保護者の割合が89.7%、教職員の割合が90.9%で、前年度比でもそれぞれ1.9ポイント、3.1ポイント増加しました。今後も、子どもの安全確保に向けて、保護者としての役割、学校としての役割をそれぞれ果たすとともに、互いに連携した取組を進めていきます。

児童、保護者の記述から

【課題】

①自転車に乗っている子や徒歩の子が、左右を確認していなかったり急に飛び出してきたりと、危険な場面を何度か見たことがあります。自分の子には交通ルールを再度確認するなど指導はしていますが、学校からも子どもたちに繰り返し指導していただけると子どもの安全のためになるかと思います。（第1学年保護者）

登下校時に子どもが遊び半分で道路に飛び出す、横断歩道で立ち止まり車を見る、柵を超えて遊びながら登下校する様子が見られます。学校近くの飲食店、人家や障がい者施設の敷地への立ち入り、投石、道路での鬼遊び、川遊び、自動車通行時での押し合いなど、指導が必要と思うことが多々あります。交通安全のみに限らず、登下校時のルールについて、各家庭での指導はもちろんのこと、学校でも登下校のルール、マナーとして指導してほしいです。（第5学年保護者）

先日下校中に低学年の子が赤信号で横断歩道を渡っているのを見かけました。ごく一部の子なのだと思いますが、見て思うのは、子ども自身ではなく親の教育がそういう行動を起こしているのだと思いました。一緒に帰っている友達が呼び止めても、横断歩道差し掛かりに止まることもなく、こちらが驚くほど平然な顔をして渡り、友達に渡ることを促すような行動をとっていたようでした。その時見た子は、その行動がその時、たまたまなのかもしれないですがそのうち大きな事故にあうかもしれないと感じました。子どもだけではなく、当たり前のことを当たり前でできない親への指導も大事なのではないかと思います。お手紙でもメールでも、対象の親が見るかは分かりませんが繰り返し周知する必要があると思います。（第6学年保護者）

生活指導の教育をもう少ししていただければと思います。保護者あてのプリント等では指導したことを確認できますが、近所の子どもが道路で遊んでいて危険なのが目立ちます。生活指導の教育をもう少ししていただければと思います。（第6学年保護者）

→学校においては、特別活動での「交通安全教室」、朝の会、帰りの会など、いろいろな機会を設定し、指導しているところですが、ルールを守っていないという事例があとを絶ちません。学校管理外の時間でもありますので、保護者、地域、学校で粘り強く指導する必要があります。もし、児童の行為で悪質な件がありましたら、躊躇せず、関係機関に連絡願います。（学校）

設問 9 信頼される学校づくり③

②宿題を忘れたとき、授業で終わらなかった学習課題をするために居残りすることがあるそうですが、帰宅時間がずれるのは子どもの安全上よくないことかと感じます。（第3学年保護者）

→下校時刻を大幅に過ぎて下校する場合には、保護者の承諾を得た上で行うことを徹底していきます。（学校）

③グラウンドが石だらけです。石拾いやグラウンドの整備などを検討し、実行するよう、よろしくお願いします。（第6学年保護者）

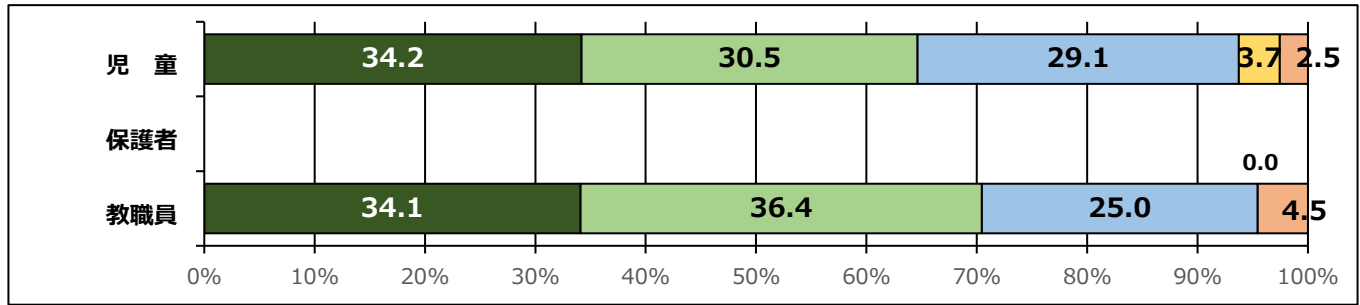
→グラウンドの整備については、教職員、児童が定期的に行っています。ただ、グラウンドを使用する度に、表面が削られて石が次から次へと出てくるのが実情であることをご承知おきください。（学校）

設問10 タブレット端末の活用

- ☐ 児童「授業で、タブレット端末をどのくらい使用したか。」
- ☐ 保護者 ※質問項目なし
- ☐ 教職員「学校（授業者）は、児童にタブレット端末をどの程度使用させたか。」

	A ほぼ毎日	B 週3回以上	C 週1回以上	D 月1回以上	E 月1回未満
児童	33.7	31.3	28.8	3.8	2.4
保護者					
教職員	34.1	36.4	25.0	0.0	4.5

※今年度の新設質問項目のため、昨年度の割合はありません。



「ほぼ毎日」と回答した児童の割合が34.2%、教職員の割合が34.1%でした。授業中での活用に加えて、2学期からタブレット端末の持ち帰りを始めており、児童の使用頻度は高くなっているところです。今後、児童使用頻度が低い児童及び教職員については、適切に活用できるよう、指導・支援を行っていきます。

児童、保護者の記述から

【課題】

- ①タブレットで宿題が出されたときに、毎回充電がなくなって提出が遅れるので、そこを何とかしてほしいです（第6学年児童）

→学級の全児童が電源コードを持ち帰ると、再び保管庫に配線する際に時間がかかるため、電源コードを持ち帰らせてはいませんでした。ただし、個人又はタブレットによって充電がもたない場合があるかもしれませんので、学級担任に相談して、持ち帰ることは可能です。（学校）
- ②学級の「Teams」で児童が投稿することができないのが困ります。例えば、係のアンケートなどで、紙で行うとこれまでの経験から回答率が低くなっています。どうやら、家に忘れた、捨ててしまった、などで期限を守らない人がいるからです。そこで、Formsでアンケートを作成したのですが、投稿ができなく困っています。できれば、投稿ができるようにしてほしいです。（第6学年児童）

→セキュリティ等の問題から児童に制限をかけている機能があります。児童が作成したアンケートを教員側から出すなどの代替案がありますので、まずは教員に相談してください。（学校）

【成果】

①いつもありがとうございます。（第2、6学年保護者）

→こちらこそありがとうございます。（学校）

②特に要望はありません。色々な取組があり、良いと思います。（第2学年保護者）

→ありがとうございます。今後も児童への教育効果の高い取組を継続して取り組んでまいります。（学校）

③11月27日に、外部講師の話を聞くのを子どもがとても楽しみにしていました。通常の授業に加えて、児童の情緒が養われるような授業を今後も続けてほしいと感じています。よろしくお願いいたします。（第3学年保護者）

→ありがとうございます。例年、第3学年児童を対象として、ウトナイ湖鳥獣保護センターの職員を招いた授業を行っています。今後も、継続していきたいと考えています。（学校）

④学級担任をはじめ、息子を理解しようとしている教員に感謝を申し上げます。（第5学年保護者）

→ありがとうございます。引き続き児童理解に努めてまいります。（学校）

⑤発表会の学年ごとの保護者の誘導、スケート靴の貸出しなど、新しい取組を進めることにはたくさんの課題があり、手間がかかると思いますが、学校で考え、実行してくれたことに感謝します。（第5学年保護者）

教材費を引落しにしてくれたり、スケート学習ではレンタルを可能にしてくれたりと保護者への配慮をしていたきありがとうございます。（第5学年保護者）

今年から学校スケートリンクの造成がなくなり、スケートの授業の機会が少なくなったことで、スケート靴の購入を躊躇っておりましたが、スケートの貸出しを行っていただき、大変助かりました。ありがとうございました。（第6学年保護者）

学習発表会の際には親身に対応していただき本当に助かりました。いつもありがとうございます。（第5学年保護者）

学習発表会では子どもたちの成長した姿を見ることができ、とても感動した嬉しい時間でした。短い時間の中、先生方にはご尽力いただきありがとうございました。あと少しで卒業ですが、引き続きよろしくお願い致します。（第6学年保護者）

→ありがとうございます。前年度の踏襲にこだわらず、取組を推進することで効果が得られそうなことには、できる限り挑戦してまいりたいと考えています。また、学習発表会の際は、教職員の会場への誘導にご協力いただきありがとうございました。（学校）

【課題】

①理科室と家庭科室が遠いから、近くしてほしい。（第5学年児童）

→例えば、第5学年教室を東側の校舎に移動するなど、教室配置を変えるなどで様々な課題が解決できるようでしたら、今後、検討していきます。（学校）

②全校で遊ぶ機会ほしいです。（第5学年児童）

→いい考えですね。児童会に働きかけて、実現させていきましょう。（学校）

③廊下でうるさい人がいます。（第5学年児童）

たくさんの人が廊下を走っているのをやめてほしい。（第6学年児童）

女子トイレに、大人数で長居する人が多いのをやめてほしい。（第6学年児童）

下品な言葉づかいをやめてほしい。（第6学年児童）

→教員も指導していますが、なかなか改善できていないことが感じられます。児童間でも問題提起して、互いに意識し、改善できるように一緒に取り組んでいきましょう。（学校）

④教員の負担軽減ということで、色々なことが変更されていますが、正直、保護者や子どもたちの意見を聞かないで変更されすぎている、という印象をもっています。そもそも学校は教員のための学校ではなく、子どもたちのための学校です。子どもたちの意見をもっともっと聞くべきではないかと感じています。子どもたちから不登校の話を聞いたときに、どうして子どもたち一人一人の意見を聞けないのかと悲しくなります。（第2、6学年保護者）

→教員の負担軽減ということでは、文部科学省、北海道教育委員会、苫小牧市教育委員会からの通知等を踏まえて、学校で取り組んでいるところです。教員の業務改善は喫緊の課題となっていますので、取組についてはご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご意見にあったように、働き方改革の推進については、保護者の皆様への周知等が不足していると感じているところです。今後も、様々な機会や方法で周知するよう努めてまいります。

また、不登校児童の増加は、本校の大きな課題の一つとなっています。児童及び保護者と教育相談を重ねるなどして、必要な支援を行っているところです。

⑤費用がかかることなので改善は難しいのかもしれませんが、教室の中が寒く一部しか暖かくないとよく聞いてます。上着が着れないので、フリースやヒートテックなど、学校用にたくさん購入しました。どの家庭も同じかと思いますが、値上げばかりのご時世で正直辛いです。これからが冬本番なので教室全体が暖かくなるように要望します。愚痴のような要望で申し訳ありません。（第3学年）

→教室のストーブの設定温度を上げるなどすれば、改善できる場所がありますので、学級担任に申し出て下さい。ただし、教室全体を温かくすることは難しいところです。引き続き、肌着や上着を重ねるなどして対応していただくよう、お願いいたします。（学校）

⑥学校でのけがで入院し、手術することで高額な医療費になり、スポーツ振興センターの保険金手続きをしました。担当教諭から、当初は「8月中に手続きをします」と言われていましたが、11月になっても何もなかったため、確認のために架電したところ、「10月に手続きしました」と言われました。書類が揃わないなど、事情があることは分かりますが、手続きが遅れるなら、保護者に連絡をしてほしかったという思いや疑問、不信感が募りました。（第3学年保護者）

→大変申し訳ありません。できる限り素早く対応しているところですが、関係機関からの照会、修正等で時間がかかってしまいました。今後は、今まで以上に円滑に手続きを進めるとともに、予定より大幅に遅延することが分かった時点で連絡するなど、改善に努めてまいります。（学校）

⑦子どもが、学級担任に指導されたことに納得していないこと、学級担任は子どものことを見ていないし、子どもが訴えても何もしてくれず、子どものせいにされること、学級担任のことを信頼できないことが課題となっています。改善されることを願っています。（第3学年保護者）

→このことについては、以前、関係教員と話し合ったところですが、対応が行き届いていなかったようです。申し訳ありません。今後も、児童、保護者の声に耳を傾け、真摯に対応するよう、努めまいります。

⑧今年度の学習発表会で全学年入替えを行わず、下の学年の保護者が残っていたため、座る場所がほとんどなかったためもう少し対策を考えて欲しいです。

不公平感が出てしまうなら完全入れ替えにして欲しいです。（第4学年保護者）

学習発表会一般公開の観覧の仕方について、次年度は再考していただきたいです。カーペット席でも椅子席でも、引き続き観覧する方々が多く前方にいました。順番待ちをして先頭で会場に入っても、観やすい席が得られませんでした。待っている時に、前演目が終演の頃に入っていく方々がいたのですが、次の席取りのためだったのかと邪推をしてしまいます。ルールを守っているはずなのに、損をした気持ちになりました。（第4学年保護者）

学習発表会の時、全く違う学年の親が一番前に座っているなどで、子どもの学年の時は、親が並んで入ってきた時点で観客席がなかったです。昨年までのように、完全入替えしてもわからないと並んで意味がないです。自分の子どもの発表は何も見れない状態でした。それならDVDを希望する方に配付するなどしてもらわないと、発表会で子どもの様子が見られないなら意味がないです。来年度は完全入れ替え希望します（第5学年保護者）

→令和6年度より、完全入替え制から一部変更としています。変更した意図としては、参観する保護者の移動の手間を省くこと（例えば、子どもの学年発表が続く際に、一度、会場外に出る場合など）、自分の子どもの学年以外にも広く参観できるようにしたこと。関係保護者が、前方の席で参観できるよう、事前に、当日も、保護者への依頼として、「自分の子どもが出ていないときは、後方の席に移動し、参観してください」と呼び掛けていましたが、一部保護者でこのことが守られていないことがあったようで残念に思います。現段階では、完全入替え制に戻すこと、DVDを配付することは検討していません。今年度の反省を生かして、上記のことについて、協力いただくよう、効果的に働きかけてまいりたいと考えています。（学校）

⑨PTA会費を集めているが、活動内容が保護者に届いていないです。（第5学年保護者）

→PTA便りなどで活動内容をお知らせしているところですが、不十分なところがあったようですので、改善を図ってまいります。なお、令和7年4月には、対面でのPTA総会を計画しておりますので、多くの保護者の皆さまのご出席をお待ちしております。（学校）

○タブレット端末の持ち帰りについては、教育効果と同時に持ち帰ることでの問題等があることが考えられます。
(委員)

→破損等の問題はありましたが、児童が困らないよう、タブレット端末の交換や修理等を行っています。また、使用用途で不適切なことをしていることが判明した際には、教員が児童に指導するとともに、指導した内容を保護者に報告しています。(学校)

○小学校と幼稚園、保育園と連携することが大切であると言われているが、様々な幼稚園、保育園から入学してくる小学校と連携することが難しいと思います。同じ地域にある利点を生かし、少しずつ連携していくとよいのではないかと考えます。(委員)

→園児の引継ぎ、教育課程の引継ぎ等が円滑に進むよう、できることから協力していきたいと考えます。(学校)

○以前のように、学校行事をたくさん実施することができなくなったことは理解できるが、「学校が楽しい」と子どもたちが思えるようにして欲しいと思います。(委員)

→今後も、学校行事を含めた教育活動等の充実を図り、児童が「学校が楽しい」と思える学校づくりに努めてまいります。(学校)

※その他に、学校評価に係るアンケートの実施方法についての質問、フリースクールを活用している児童数についての質問があり、回答しました。

※学校運営協議会で回答した内容に加えて、学校としての見解を追記しています。

令和6年度学校評価につきまして、アンケート等にご協力いただきありがとうございました。
今回の学校評価の結果を踏まえて、学校運営の改善を図り、児童がよりよい教育を享受できるように、努めてまいります。
今後も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

苫小牧市立錦岡小学校長 河毛 幸至

